



## トライオプティマ社日本代表に西村健が就任

トライオプティマは、西村健の日本代表就任を発表しました。同氏は、トライオプティマジャパンの業務管理統括を担い、日本における顧客基盤の拡大を継続します。

2009年日本法人設立以降、日系および在日外資系金融機関によるポートフォリオコンプレッションの「トライリデュース」、カウンターパーティ与信管理と積極的ポートフォリオ照合の「トライリゾルブ」の両サービスの活用は、劇的に拡大しました。

西村氏は、野村証券およびノムライインターナショナル(ロンドン)でデリバティブ業務に従事、そしてGEキャピタルジャパンでM&Aとリスク管理を担当、直近ではアドバンテッジパートナーズグループのディレクターを務めるなど、金融および事業会社双方の領域において様々な経験を有しています。同氏は、1988年に東京大学理学部数学科を卒業、1993年にはMITスローンスクールにて経営学修士号を取得しています。

「西村氏は、弊社の日本市場におけるさらなる成長を推進してくれるでしょう。規制環境の変化に伴い、弊社のビジネスも変遷します。彼の豊富な業界経験をもとに、新しい規制への対応を急ぐ顧客を支援するとともに、様々な課題を解決してくれるものと信じています。」西村氏の上司となるアジアパシフィック地域CEOの今西寛は、このように語っています。

## トライオプティマについて

ICAPグループの一員であるトライオプティマは、トライリデュース (triReduce) 、トライリゾルブ (triResolve) など、デリバティブ取引のインフラに関わるサービスを提供し数々の授賞に輝いています。

デリバティブディーラー向けに開発されたポートフォリオコンプレッションサービス「トライリデュース」は先駆的技術により、取引に関わる諸々なリスクを削減し、運用コストや資本コストを軽減します。すでに世界各国の主要ディーラーを含む150強の金融機関に利用され、ポストトレードの効率的管理に極めて重要、かつ不可欠なツールとなっています。トライリデュースは、世界各国のシングルネームおよびインデックスのクレジットデフォルトスワップ、25通貨におよぶ金利スワップ、各種エネルギー swaps を対象に、残高を削減しています。

トライリゾルブは、取引相手の与信リスクを効率的に管理するネットワークコミュニティサービスです。ここでは、デリバティブ取引の積極的なポートフォリオ照合や担保管理、紛争解決などの業務をサポートしています。世界各国のディーラー、銀行、バイサイド金融機関に利用されているトライリゾルブは、すでに世界のデリバティブ市場における未清算取引の75%超にあたる600万件以上の取引を処理し、各社の取引管理、決済、法務、担保管理、カウンターパーティー与信管理に貢献しています。

TriOptimaはストックホルム(本社)のほか、東京、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに拠点を構えています。[www.trioptima.com](http://www.trioptima.com)

本件に関するお問い合わせ先:

トライオプティマジパン 西村健  
電話 : 03-6450-1350  
E-mail: [ken.nishimura@trioptima.com](mailto:ken.nishimura@trioptima.com)

ニューヨーク  
インダストリーリレーションズ部門グローバルヘッド  
スーザン・ヒンコ (Susan Hinko)  
電話 : +1 646 744 0410  
E-mail: [susan.hinko@trioptima.com](mailto:susan.hinko@trioptima.com)